

こども鑄物教室事業計画

1. 目的

日本全体で学生の理系離れが問題になっている中、子どもの頃から”ものづくり”を体験して、物を作ることの面白さを知ってもらい、理系への興味を高める事を目的として体験学習講座を開催している。最初の開催は2006年であり、それから毎年開催し、2010年の開催で5回目を数える。

事業の主体は(社)日本鑄造工学会の中国四国支部であり、大学、地元企業、地域の公民館などの協力を得て、毎年、各地域を回って幅広く活動を行う。

---体験学習会の内容---

小学生に鑄物について学んでもらうために、クイズ形式の問題を出し、それに答える形での授業を行う。手軽に鑄造が体験できる、低融点金属を用いた小物アクセサリー作りを行い、ものづくりの楽しさを学ぶ。子供だけでなく、随伴の大人にも鑄造について興味を持ってもらうため、様々な鑄造関係の展示を行う。

2. 実施内容

学習会は2回行う。

1回目 10:30(10:00 受付開始)

2回目 13:00(12:30 受付開始)

定員は20名~30名/回

---スケジュール---

鑄物学習教室(鑄物の歴史, 鑄物とは, みんなの周りの鑄物)

鑄造体験(作業内容説明 班別に分かれて作業 大人が鑄込み バラシ 仕上げ)

3. 日時:平成22年11月7日(日)

4. 場所:広島市交通科学館 クフトルーム

5. 関係する団体等(予定)

主催:(社)日本鑄造工学会中四国支部

共催:(財)広島市産業振興センター、広島市交通科学館

協力:近畿大学工学部、広島工業大学工学部、広島県立総合技術研究所、広島県鑄物工業共同組合、日鋼マテリアル(株)、ヨシワ工業(株)、広島アルミニウム工業(株)、友鉄工業(株)、(株)友鉄ランド、新東工業(株)、日本銀砂(株)、大阪特殊合金(株)、西村黒鉛(株)、(株)小月製鋼所、高橋製作(株)